

令和4年度 第3学年
木工芸・美術コース

学習のてびき

奈良県立十津川高等学校

組	番	氏名
---	---	----

令和4年度 第3学年(木工芸・美術)開講科目

- ① … 現代文B
- ② … 古典B
- ③ … 地理A
- ④ … 政治・経済
- ⑤ … 体育
- ⑥ … コミュニケーション英語Ⅲ
- ⑦ … 化学基礎
- ⑧ … クラフトデザイン
- ⑨ … 数学Ⅱ
- ⑩ … 数学活用
- ⑪ … 木工芸総合
- ⑫ … 図法製図応用
- ⑬ … 美術Ⅲ
- ⑭ … 美術課題研究
- ⑮ … ボランティア

【国語科】 現代文B	教科書	新 精選 現代文B (明治書院)			
	副教材	使用しません (随時プリント配付)			
履修学年	第3学年	履修形態	必修・選択	履修単位	3単位

学習 (到達) 目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇様々な文章に触れて読解力を磨くとともに、読書に親しむ態度、他者を尊重する態度を身に付ける。
- ◇自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇授業では評論文、随想、小説など多様な種類の「文章」を読んでいます。それを活かし、普段の生活の中から新聞や本、インターネットなどを利用して「文章」に触れる機会を自ら作りましょう。
- ◇さまざまな文章を読む中で、自分の意見を持ち、積極的に発言してください。また他人の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比較し理解を深めてください。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	小説 (1) 評論 (1)	『檸檬』 『異文化理解』	・独特の物事の把握の仕方をとらえ、作者の意図に注目した「読み」を実践する。 ・論理の展開を理解し、筆者の主張をとらえる。	取り組む姿勢 中間考査	AD CDE
	評論 (2) 詩	『「名づけ」の精神史』 『およぐひと』 『二十億光年の孤独』 詩の創作	・評論文の構造を理解したうえで、筆者の問題提起を把握する。 ・特徴的な技法や表現を学ぶ。また、詩を創作し、発表する。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	AD BC CDE
	評論 (3) 小説 (2)	『芸術を楽しむ』 『舞姫』	・文章を的確に読解し、自らの芸術に対する態度を考える。 ・心情や境遇と情景描写との呼応関係に着目し、象徴表現や暗示について理解する。	取り組む姿勢 中間考査	AD CDE
二学期	評論 (4) 短歌・俳句	『猫は後悔するか』 短歌・俳句	・哲学的な文章をとおして、現代社会に対する多様な視点を養う。 ・優れた作品の形式を学び、情景を読み味わう。	取り組む姿勢 発表 期末考査	AD B CDE
	三学期	評論 (6)	『私の個人主義』	・筆者の主張を的確に捉え、自らの意見と比較対照する。	取り組む姿勢 学年末考査

学習評価 (成績評価は、次の5つの観点から行います) 考査点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10点	話す・聞く能力 (B) 10点	書く能力 (C) 20点	読む能力 (D) 30点	知識・理解 (E) 30点
評価の観点	国語で伝え合う力を、進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業における積極性 ・課題の取組状況	・俳句の発表 ・朗読 ・授業内での発問	・作文の提出 ・ノートの提出 ・定期考査	・意見文の集約作業 ・物語の結末についての創作活動 ・定期考査	・語彙に関するプリント教材 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇「読む・書く・話す・聞く」をしっかりと意識して授業に取り組みましょう。
- ◇自分と他人の読み取った内容や考えの違いを楽しんでください。一緒に授業を作りましょう。

【国語科】 古典B	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ（教育出版）			
	副教材	使用しません（随時プリント配付）			
履修学年	第3学年	履修形態	必修・選択	履修単位	3単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

<ul style="list-style-type: none"> ◇古典を読む能力を養う。 ◇古典についての理解や関心を深める。 ◇ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
--

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

<ul style="list-style-type: none"> ◇習熟度別で授業を行います。 ◇古典教材を踏まえて、自分自身が感じたり考えたりしたことを述べる機会が多くあります。積極的に言語による表現活動を行ってください。 ◇古語は現在も生きていることを日常生活から見だし、授業で展開していこうと考えます。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	随筆と日記 三国志の英雄たち	嘆きつつ 諸葛孔明	・平安時代の恋愛観を理解する。 ・漢文書き下し作成と内容把握をする。	取り組む姿勢 プリント 中間考査	A BC BC
	物語（一） 刺客荊軻	南院の競射 刺客荊軻	・古文の動作主についての考え方を学ぶ。 ・漢文書き下し作成と内容把握をする。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	A BC BC
二学期	物語（二） 不思議な話	光源氏の誕生 人面桃花	・娯楽としての古典文学を捉える。 ・物語の流れを理解し、情景を捉える。	取り組む姿勢 プリント 中間考査	A BC BC
	物語（二） 日本の漢詩文	若紫との出会い 信玄と謙信	・娯楽としての古典文学を捉える。 ・二人の人物関係と行動の意図を捉える。	取り組む姿勢 プリント 期末考査	A BC BC
三学期	評論	文 一字の違い	・手紙のすばらしさを捉える。 ・一文字違うことによる、意味の変容を捉える。	取り組む姿勢 プリント 学年末考査	A BC BC

学習評価（成績評価は、次の3つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20 点	読む能力 (B) 40 点	知識・理解 (C) 40 点
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・取り組む姿勢 ・課題取組状況	・歴史的仮名遣いの把握 ・音読、漢文訓読など声に出す能力 ・内容把握、類推する力 ・定期考査	・古文単語語彙力や古典常識、漢字力の小テストなど ・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

<ul style="list-style-type: none"> ◇授業をきっかけにして、伝統的な言語文化に興味をもって生活することを心がけてください。 ◇教材をもとに、自分のものの見方や考え方を、広げたり深めたりしてください。
--

【地理歴史科】 地理 A	教科書	高校生の地理 A (帝国書院)			
	副教材	標準高等地図—地図でよむ現代社会— (帝国書院)			
履修学年	第 3 学年	履修形態	必修 選択	履修単位	2 単位

学習 (到達) 目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇世界の自然環境や文化、産業を学び、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を養う。
- ◇日本の自然環境の特徴を理解し、身近な地域の防災を考える。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇整理プリントを活用して授業を進めます。教科書にも写真などの資料はたくさん掲載されていますが、DVDや写真集などの視聴覚教材も活用して興味をもって授業に取り組めるようにします。
- ◇講義形式だけでなく、地図やグラフを描いたり、レポートを作成したりして理解を深めます。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	世界の自然環境と文化 世界の諸地域の生活・文化	世界の地形	・様々な地形の形成された過程と地形を生かした生活の様子を考察する。	授業態度	ABD
		人々の生活と気候	・世界の気候の特徴とそれに適した生活を考察する。	レポート作成 中間考査	C BD
		アジアの自然と産業	・アジア諸地域の地形や気候の特徴を理解し、自然環境や歴史が現在の人々の生活様式、産業、文化に与えている影響を考察する。	授業態度 ファイル提出 期末考査	ABD AC BD
二学期	世界の諸地域の生活・文化	ヨーロッパ・アメリカの自然と産業	・ヨーロッパ・アメリカ諸地域の地形や気候の特徴を理解し、自然環境や歴史が現在の人々の生活様式、産業、文化に与えている影響を考察する。	授業態度 レポート作成 中間考査	ABD C BD
		地球規模で広がる課題	・環境問題や人口問題など地球規模で拡大している課題の原因を追究し、その解決を「持続可能な社会」の実現の観点から考察する。	授業態度 ファイル提出 期末考査	ABD AC BD
三学期	身近な地域の課題	身近にある様々な地図	・GIS や GPS の仕組みを理解し、主題図を作成する。	授業態度 ファイル提出	ABD AC
		日本の自然環境と防災	・身近な地域の地形や自然環境を理解し、防災について考察する。	学年末考査	BD

学習評価 (成績評価は、次の 4 つの観点から行います) 考査点 [70] 点 : 平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 10 点	思考・判断・表現 (B) 20 点	資料活用の技能 (C) 10 点	知識・理解 (D) 60 点
評価の観点	現代世界の地理的な諸課題に対する関心を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見つけ、多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題の取組状況 ・整理プリントの記入内容 ・ファイルの整理	・授業中の発言 ・定期考査における記述解答	・副教材の活用状況 ・レポートや報告書の作成 ・ワークシートへの記述	・理論的な口述返答 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇この授業では身近な地域の課題から世界の自然環境・生活・文化・産業にいたる幅広い内容を学習します。前向きな姿勢で授業に取り組み、グローバルな視点に立って物事を考えることができるようになります。

【公民科】 政治・経済	教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版（清水書院）			
	副教材	高等学校 新政治・経済 新訂版 ワークノート（清水書院）			
履修学年	第3学年	履修形態	必修 選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。
- ◇現代の政治、経済、国際関係などの仕組みや動向について理解を深め政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇様々な課題について、一人の国民の立場からそれらが生じた背景や改善のあり方について考えていけるような授業を行います。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	現代の政治	日本の政治機構 現代日本の政治 国際政治と日本	・日本の政治機構の仕組みについて理解する。 ・日本の政党政治や選挙制の特徴と課題を考える。 ・国際紛争の諸要因について理解し、我が国の安全保障の在り方がどうあるべきかを考える。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 中間考査	AC A A BD
		民主政治の基本原理 日本国憲法と基本的人権 日本の平和主義と安全保障	・人権保障、国民主権、法の支配など民主政治の原理やその発展について理解する。 ・我が国の憲法の基本理念について考える。 ・平和と安全について、自らの考えをまとめる。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 期末考査	AC A A BD
二学期	現代の経済	現代経済の特質	・経済活動とは何か。経済主体の役割や相互の関連を理解する。市場経済の機能について理解する。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 中間考査	AC A A BD
		現代の日本経済 国際経済と日本	・財政の仕組みや租税の意義や役割、金融機関の働きなどについて理解し、それらの課題を考える。 ・国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解する。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 期末考査	AC A A BD
三学期	現代政治・経済の諸課題	現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	・現代の日本社会、国際社会に関してその課題を取り上げ、望ましい解決のあり方について考える。	出席・態度 ワーク提出 ノート提出 学年末考査	AC A A BD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [70] 点：平常点 [30] 点

	関心・意欲・態度 (A) 15 点	思考・判断・表現 (B) 10 点	資料活用の技能 (C) 15 点	知識・理解 (D) 60 点
評価の観点	現代の政治や経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとしている。	現代の政治や経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。	現代の政治や経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治や経済、国際関係にかかわる基本的な事柄や本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に対する積極性 ・ノート、ワークの整理 ・小テスト	・定期考査における記述解答	・授業プリントの記入内容 ・高校生議会への提起内容	・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇高校生生議会を通して、政治への興味・関心を高め、自分の生活に活かしてほしい。
- ◇積極的にニュースや新聞を読み、知識を深めることで社会の一員となっていく力を身に付けてほしい。

【保健体育科】 体育	教科書	現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）			
	副教材	使用しません（随時プリントを配布）			
履修学年	第3学年	履修形態	必修 選択	履修単位	3単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇運動の合理的、計画的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高める。
- ◇自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇自己の興味、関心のある競技を選択し、より豊富な知識や高い技能を習得する。
- ◇基本的には男女共習で行う。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価計画	観点
一学期	体づくり運動 球技 武道 体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・ネット型、ゴール型、ベースボール型	・体力、運動の技能を高めるとともに、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養う。練習や作戦について話し合う活動を通してコミュニケーション能力を身に付ける。	ワークシート 実技テスト 授業観察 出席状況等	AB C ABCD A
		・剣道	・相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開できるようにする。		
二学期	体づくり運動 球技 陸上競技 武道 体育理論	・体力を高める運動 ・体ほぐしの運動 ・跳躍、投てき、短距離走 ・ネット型、ゴール型、ベースボール型	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養い、体力、運動の技能を高める。 ・能率的な集団行動をできるようにする。	ワークシート 実技テスト 授業観察 出席状況等	AB C ABCD A
		・剣道	・得意技を用いて簡単な試合をできるようにするとともに審判などの役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする。		
三学期	体づくり運動 球技 武道	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・体力、運動の技能を高めるとともに、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、フェアなプレイをしようとする態度を養う。	授業観察 出席状況等	ABCD A
		・剣道	・相手を尊重し、礼法や形といった伝統的な立ち居振る舞いを身に付ける。		

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います）

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断・表現 (B) 15点	運動の技能 (C) 50点	知識・理解 (D) 15点
	評価の方法	授業に積極的、主体的に取り組む、仲間と協力し、自己の責任を果たそうとしている。 勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナー、チームワークを大切にしようとしている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ、主体的に授業を組み立てる（簡略的な指導案を立てる）ことができる。 自己や相手の健康や安全に留意した練習や攻防ができています。	作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できている。 剣道では状況に応じ基本的な動きができるようになり、崩し、しかけ、応じができ、礼法を習得している。
評価の方法	・観察評価（授業中の態度・行動、積極性、出席・見学回数、忘れ物を含む） ・ワークシート	・観察評価 ・ワークシート	・実技テスト ・観察評価	・対話 ・観察評価

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇授業開始のチャイムが鳴るまでに更衣を済ませ、集合してください。
- ◇見学等の連絡がある者は事前に担当の先生に相談し、指示を受けてください。

【外国語科】 コミュニケーション英語Ⅲ	教科書	All Aboard! Communication English Ⅲ (東京書籍)			
	副教材	使用しません(授業プリントなどを適宜利用)			
履修学年	第3学年	履修形態	必修・選択	履修単位	4単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇ 日常的な話題について、英語で聞いたり話したりできるようになる。
- ◇ 情報や考えなどを英語で伝える能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになる。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇ テストの結果等により、「A, B, C」の習熟度別で授業を行います。共通の教科書は使用しますが、それぞれの到達度により授業の内容も異なり、あらゆる進路に対応した授業を行います。
- ◇ 教科書以外にも授業プリントなどを適宜利用することにより、予習・復習がスムーズにできるように進めます。課題の提出は必須です。
- ◇ 英語による指示や質問を聞き、英語で応答できるように工夫します。

学習計画 (考査は単元毎に、又は単元内のパート毎に実施します。)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	Lesson 1	Bring Me Good Luck!	<ul style="list-style-type: none"> 過去完了形が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 手紙文から必要な情報を読み取る。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A ABC AD D
	Lesson 2	You Are What You Eat	<ul style="list-style-type: none"> 未来進行形が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 英語の電話表現を理解し、使用する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A ABC AD D
二学期	Lesson 3	The Power of Music	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法過去が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 自分自身のことを英語で紹介する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 中間考査	A ABC AD D
	Lesson 4	The Natural Treasures of Ogasawara	<ul style="list-style-type: none"> 否定表現が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 英語でパンフレットを作成する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 期末考査	A ABC AD D
三学期	Lesson 5	A Door to the Past	<ul style="list-style-type: none"> 無生物主語が含まれる表現を理解する。また、それらを含む英語で自らの考えを表現する。 接頭語や接尾語から未知語の意味を推測する。 	積極性 パフォーマンス 小テスト、課題等 学年末考査	A ABC AD D

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います) 考査点 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (A) 20 点	外国語表現の能力 (B) 5 点	外国語理解の能力 (C) 5 点	言語や文化についての知識・理解 (D) 70 点
	評価の方法	積極的に授業に取り組み、失敗を恐れずに、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 授業中に与えられた課題や小テストに前向きに取り組もうとしている。	日常生活や自分の考えを、英語で書いたり、話したりできる。 ALT とのチームティーチングにおいて、自分の考えなどを英語で書いたり、話したりしている。	英語を聞いたり、英語で書かれたものを読んだりして、理解できる。 ALT とのチームティーチングにおいて、意欲的に理解しようとしている。
評価の方法	・出席点 ・小テスト ・関心、意欲、態度点	・パフォーマンステスト等	・パフォーマンステスト等	・提出課題 ・定期考査

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇ 毎日の予習・復習を必ず行ってください。英語は学習の積み重ねが大切です。
- ◇ ALT の先生も一緒にチームティーチングをしていただきます。積極的に参加してください。

【理科】 化学基礎	教科書	高等学校 改訂新化学基礎（第一学習社）			
	副教材	改訂 ネオパルノート化学基礎（第一学習社） スクエア最新図説化学（第一学習社）			
履修学年	第3学年（木美）	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習（到達）目標（授業を通して、身に付ける力）

- ◇ 身近な生活や社会で利用されている物質とその変化を、科学的な視点で探究し、理科の見方や考え方を身に付ける。
- ◇ 実験や観察に対して、見通しをもって予想や仮説を立て、科学的な探究に必要な資質・能力を身に付ける。

学習方法（授業の進め方や工夫点など）

- ◇ 教科書、プリント、視覚教材等を活用し、視覚的にイメージしやすい授業を展開します。
- ◇ 実験や観察を行い、理科の醍醐味である『なぜだろう』という疑問をもち、考える授業を行います。

学習計画（どのような内容を、どの時期に学習するのか）

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	1. 物質の構成	1. 物質の成分と構成元素	・混合物と純物質について学び、それらの分離方法や検出方法を理解する。 ・物質を構成する基本的な粒子について学習する。	小テスト 授業態度、提出物 実験態度、プリント 中間考査	D A BC BCD
		2. 化学結合	・粒子どうしの化学結合と、物質の性質を関連付けて理解する。	小テスト 授業態度、提出物 実験態度、プリント 期末考査	D A BC BCD
二学期	2. 物質の変化	1. 物質と化学反応式	・物質の変化は化学反応によって起こることや反応する物質と生成する物質の間の量的関係について理解する。	小テスト 授業態度、提出物 実験態度、プリント 中間考査	D A BC BCD
		2. 酸と塩基の反応	・酸や塩基の性質や中和反応における量的関係、塩の性質について理解する。	小テスト 授業態度、提出物 実験態度、プリント 期末考査	D A BC BCD
三学期	2. 物質の変化	3. 酸化還元反応	・酸化還元反応の定義や酸化剤、還元剤のはたらき、金属のイオン化傾向について理解する。 ・電池および電気分解の原理について理解する。	小テスト 授業態度、提出物 プリント 学年末考査	D A BC BCD

学習評価（成績評価は、次の4つの観点から行います） 考査点 [60] 点：平常点 [40] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 20点	思考・判断・表現 (B) 25点	観察・実験の技能 (C) 15点	知識・理解 (D) 40点
		身近な生活や社会と結び付けて物質とその変化に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	物質とその変化について、科学的に探究する力を身に付け、得られた結果をレポートなどで的確に表現している。	科学的な探究に必要な観察や実験に関する基本的な技能を身に付け、得られた結果を正確に記録、整理するための技能を身に付けている。
評価方法	・授業に対する積極性 ・課題や提出物の内容	・課題の論述内容 ・定期考査	・実験観察レポートの操作要領、結果等の記入状況 ・実験観察の取り組み ・定期考査	・小テスト ・定期考査

留意点（担当者からのメッセージ）

- ◇ 化学では知識を習得し、それを活用して思考することが大切です。小テストや日々の授業で少しずつ知識を定着していきましょう。
- ◇ 『なぜだろう』と疑問をもち、その原理を考える過程をたのしみましょう。

【美術科】		教材	工芸 I (日本文教出版)		
クラフトデザイン		副教材	使用しません		
履修学年	第3学年(木美)	履修形態	必修・選択	履修単位	2単位

学習(到達)目標 (授業を通して、身に付ける力)

- ◇クラフトデザインについて幅広い知識と技能を身に付け、主体的に取り組む姿勢を養う。
- ◇実用性のある作品や個性的であたたかみのある作品を制作し、工芸品に親しむ心を養う。

学習方法 (授業の進め方や工夫点など)

- ◇教科書以外のプリントや資料も積極的に活用し、視聴覚教材を活用した授業を行う。
- ◇制作を進める上で、作品の造形やデザインに、独自性があるものを多く取り入れられるように工夫し、感性を養う。

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学習するのか)

学期	単元名	学習項目	主な学習活動	評価項目	観点
一学期	観察から表現へ つくるー材料・技法 演習 鑑賞	・オリエンテーション ・機能と造形 ・観察と立体表現 ・行灯制作 ・鑑賞	・デザインについて意味や方法、流れを理解する。 ・アイデアをスケッチし、デザイン画を描く。 ・使用することを目的とした機能的で実用的なデザインを考案し、木製靴を制作する。 ・互いの完成作品を鑑賞することで意見を交換し、理解を深める。	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 ワークシート	ABCD A A A D
二学期	造形の知識ー機能・構造 鑑賞	・木でつくる ・鉛筆デッサン ・鑑賞	・文化祭に出品する作品を制作する。 ・応用内容の鉛筆デッサンを描く。 ・互いの完成作品を鑑賞することで意見を交換し、理解を深める。	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 ワークシート	ABCD A A A D
三学期	つくるー材料・技法 演習 鑑賞	・木でつくる ・鑑賞	・卒業制作に付けるネームプレートと台を作成する。 ・互いの作品を鑑賞することで、理解を深める。	作品・課題 授業態度 準備物 出席状況 ワークシート	ABCD A A A D

学習評価 (成績評価は、次の4つの観点から行います)

提出作品 [60] 点 : 平常点 [40] 点

評価の観点	関心・意欲・態度 (A) 40 点	発想や構想の能力 (B) 20 点	創造的な技能 (C) 20 点	鑑賞の能力 (D) 20 点
		芸術、工芸、工芸の伝統と文化に関心を持ち、自ら主体的に取り組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、目的や条件、機能や素材の生かし方などを総合的に考え、構想を練っている。	創造的で、木工制作に必要な技能を身に付けている。制作手順や技法を吟味し、表現方法や個性を生かし、工夫している。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・出席、欠席、遅刻 ・教科書、実習工具、資料、服装	・作品 ・課題 ・アイデアスケッチ	・作品 ・課題 ・アイデアスケッチ	・ワークシートの内容

留意点 (担当者からのメッセージ)

- ◇安全に十分に注意し、怪我や事故を未然に防ぐこと。作品、課題の提出は必ず期限を守りましょう。
- ◇授業では「考える」「伝える」「理解し合う」ことを大事にしています。制作では、みんなで協力し「創る喜び」や「工芸とデザイン」について学習しましょう。授業は作業着と安全靴を着用して出席してください。